

R-18

可能ならば  
知るべきでない  
鎮守府の秘密



まったくのヤロー  
このくらいカスリキズ  
だっつってんのによ

カネリ  
02:34:28  
天龍



あがるとすっかな!

んじゃあ  
オレも

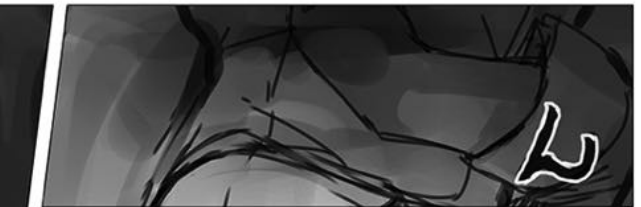


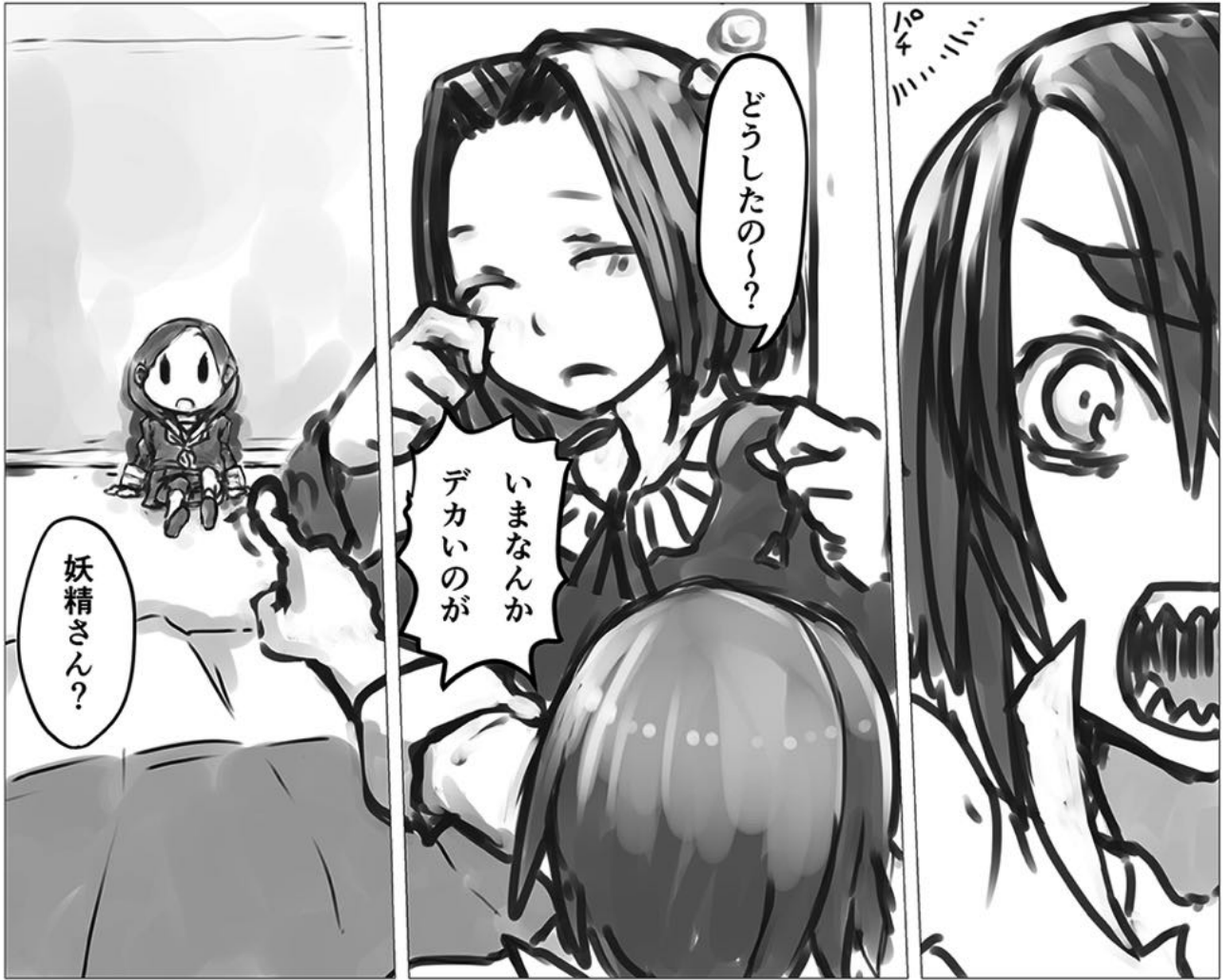
お、艤装の  
修理終わったか?

いつもありがとな!

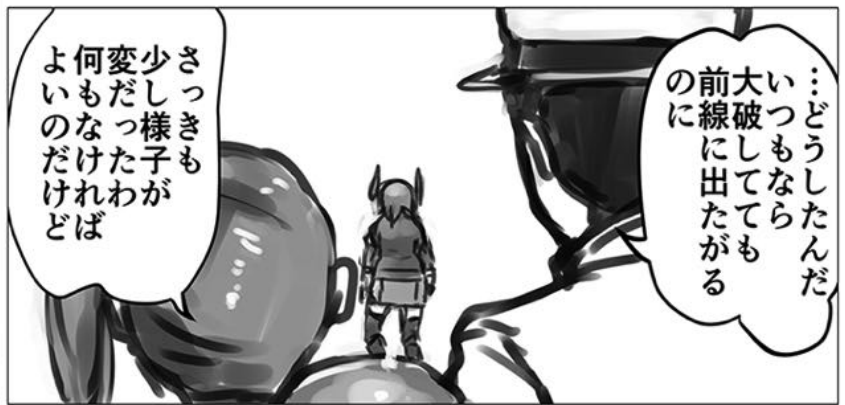






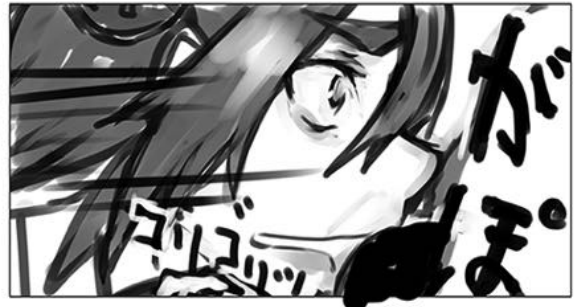














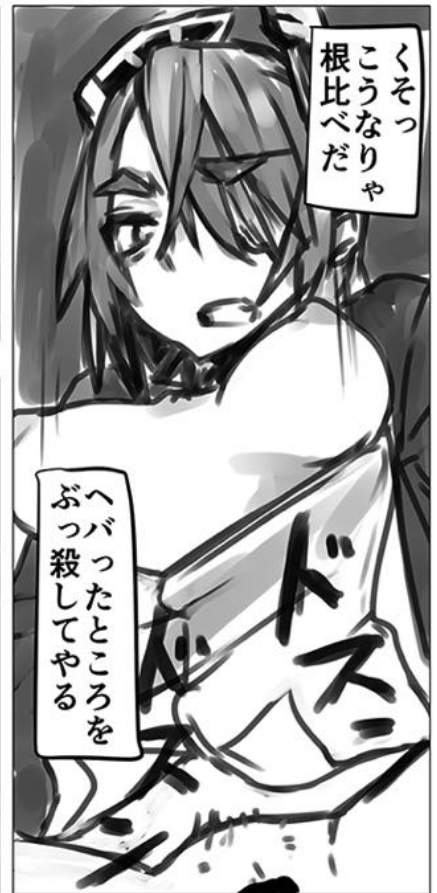




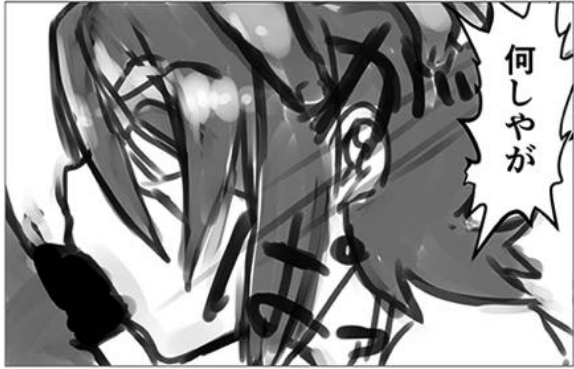
お  
び

調子こきやがって  
終わったら  
覚えとけよ……

カ  
ム  
チ









畜生……数が  
多すぎるぜ……

こいつら  
ついまでやる  
つもりだよ

このままじゃ  
オレ……

悪りい提督  
オレもう  
ダメかもしれない

To be continued



卯月が  
したそうだった

司令官  
わかってると思うけど  
まだ勤務中だぴょん

そんなこと  
ない…ぴょん



じゃあ俺が  
したかっただけか…



安心しろ  
怒られるときは  
一緒に怒られてやる



お、怒られるのは  
司令官だけぴょん…



ううー…  
司令官がそんなだから  
うーちゃん最近  
みんなに疑われてるぴょん

え…マジか

ていうか最悪  
クビぴょん…

とか言いながら  
下着引っぱるな…っ  
うー…



あ

ロッカーの中から  
お疲れ様です  
弥生です

——うっかり  
まずい場面を  
目撃中……です

ドキ

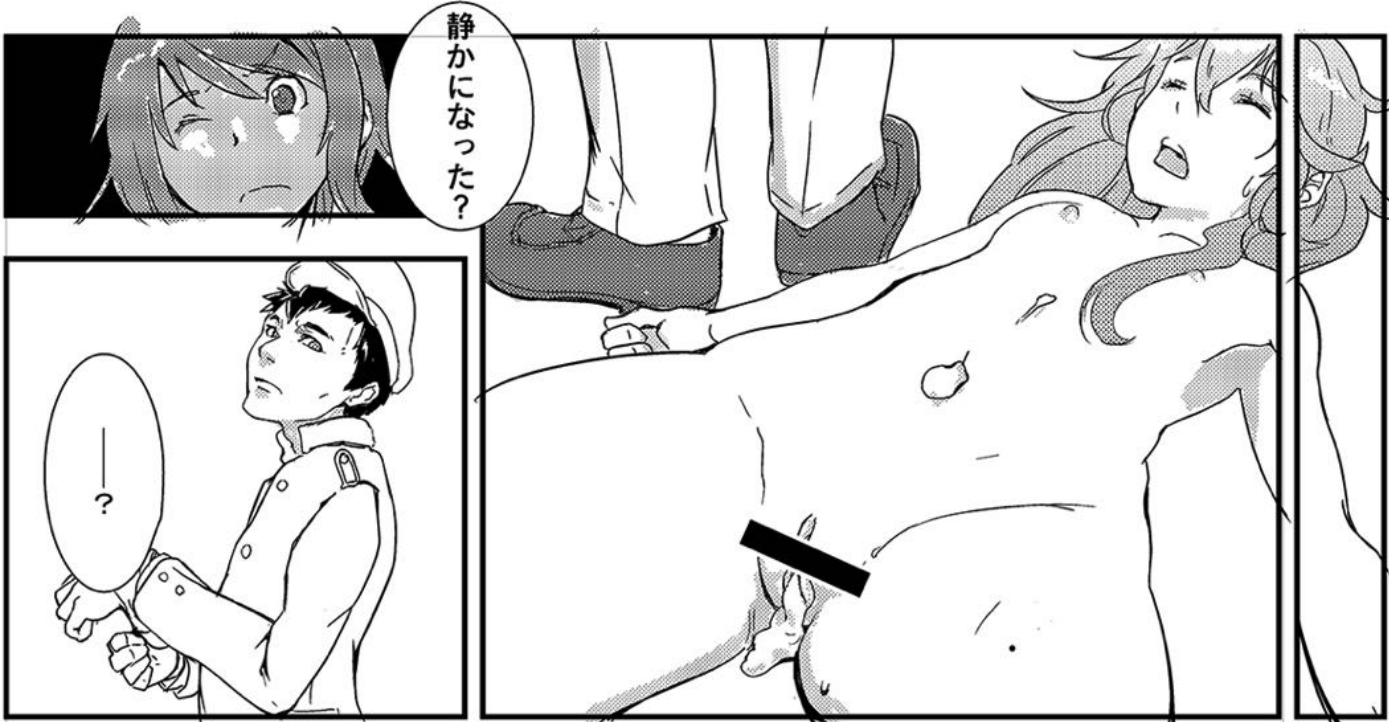
ドキ



うぱーっ  
しれーかん  
奥まじで  
凄いでよん



ん



静かになった?



司令官さん…

今回の遠征よくやった  
お前は頼りになるな



毎晩宿舎に帰る時間も遅いし  
艦娘達の間でも  
変な噂が立ってたから  
気にはなってた



とにかく落ち着かないと…  
でもいつの間にか?

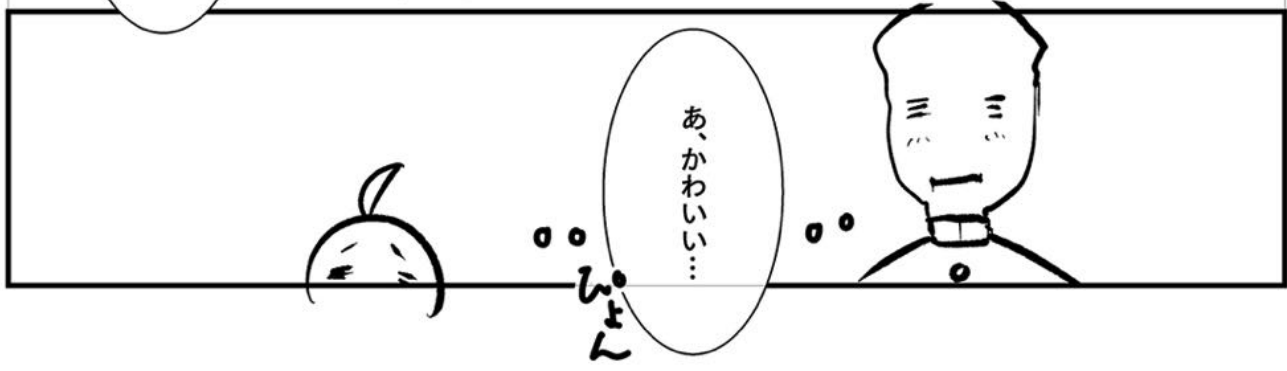
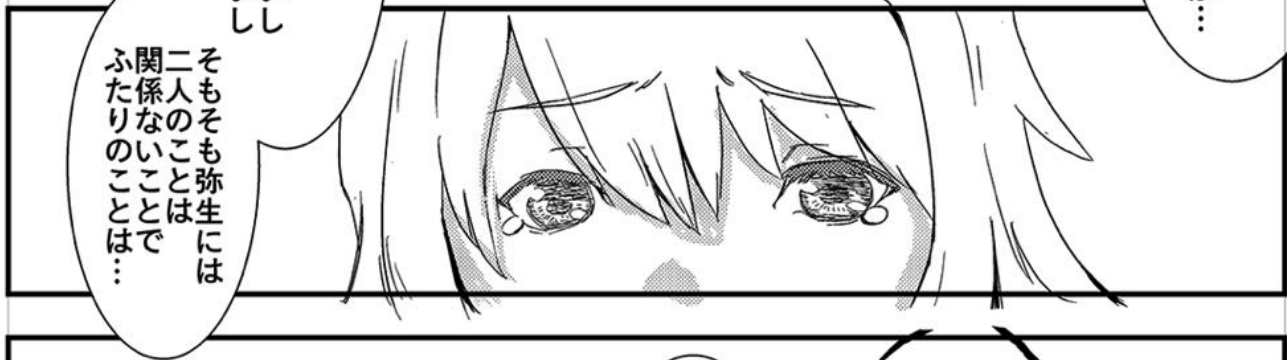
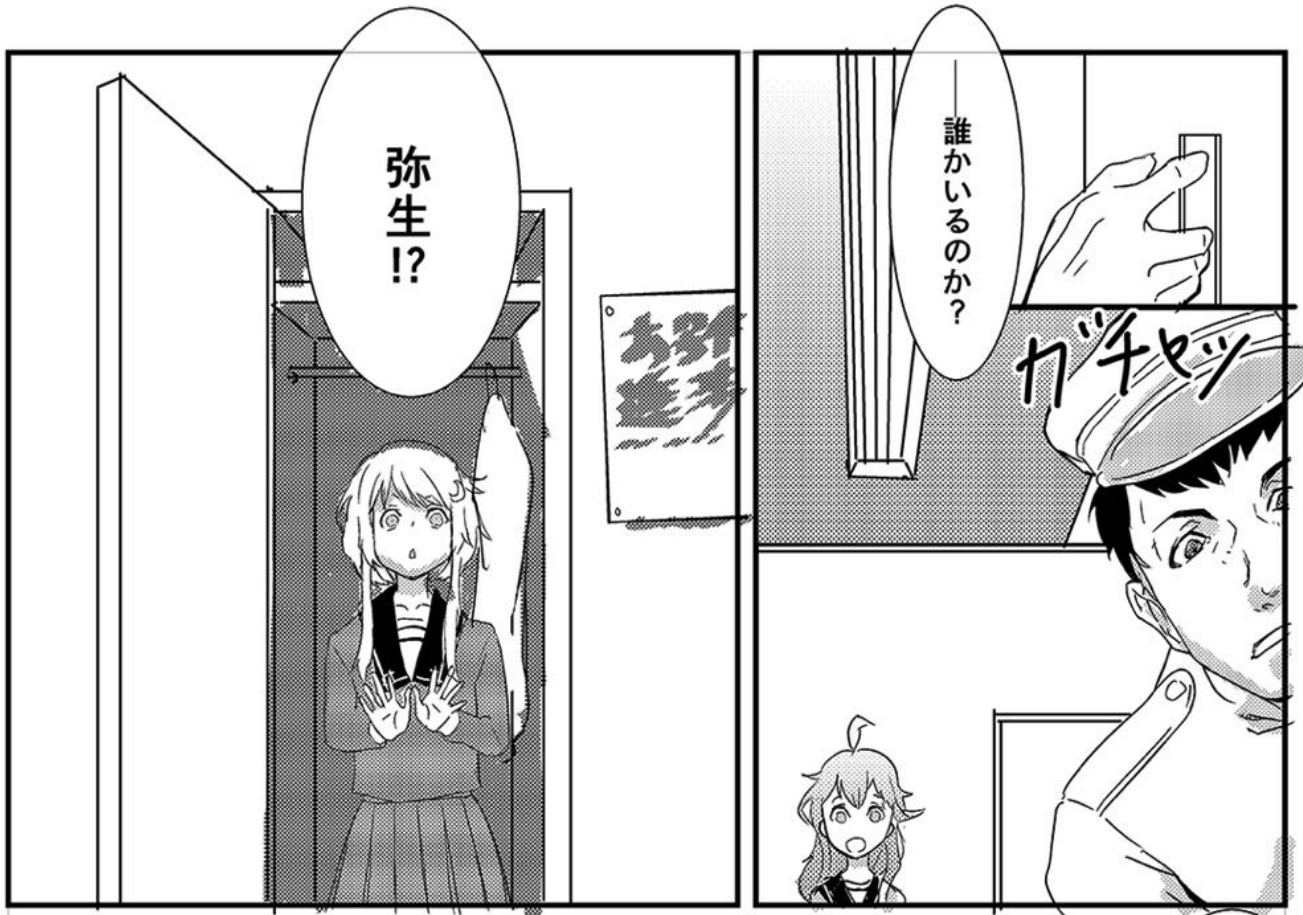


同時期に着任した卯月は  
いつも私と一緒にだった—  
それがあつた時  
卯月が秘書艦付きになって



褒められたのに  
嬉しかったのに—

まさか、ほんとにあの司令官と—







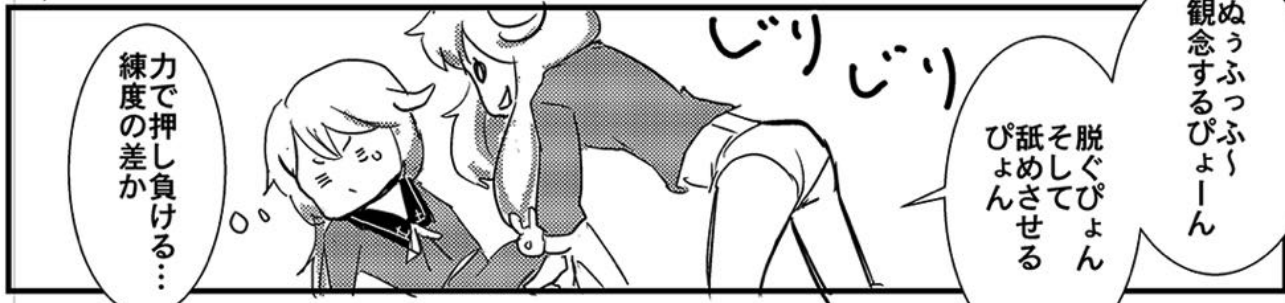
STOP!

いや、いやいやいや!  
いたすってナニをですか  
何をされるのも弥生は  
ご免こうむりますよ!?



わかったびよん!  
つまり弥生ちゃん!  
仲間はずれが寂しいは

だからー  
司令官がいたしてー  
そしたらみんな  
仲間(共犯)だびよん

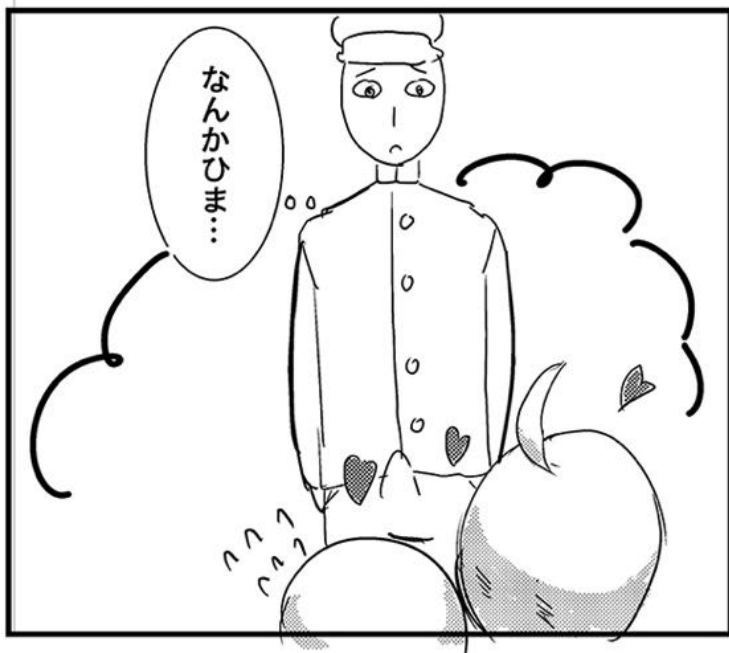


力で押し負ける…  
練度の差か

じりじり

脱ぐびよん  
舐めて  
びよんさせる

ぬうふっふっ  
観念するびよん



なんかひま…



キーン

だいたい相棒だびよん  
じゃないよー  
し悪いというびよん



我  
不  
明

だが…  
吸いつきたい  
そうだろう!!



ゴゴゴ  
このまま行く  
と  
いよいよクビ  
覚悟の領域か…

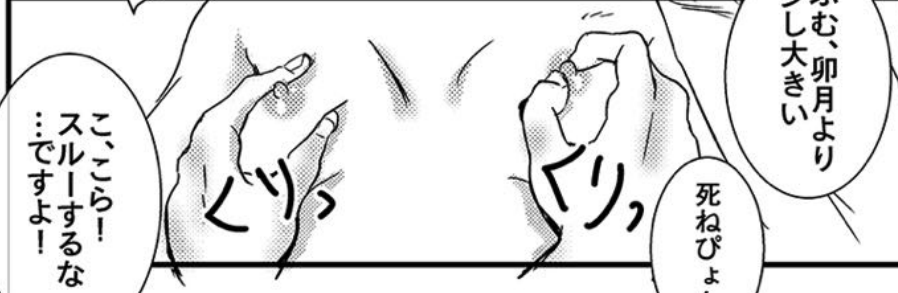


しれい姦さあーん  
準備できたぴよん  
さあ、やっちまうぴよん!



司令官!  
なに口走ってるですか!  
卵月を止めて!

ふむ、卵月より  
少し大きい



死ねぴよん

ここら!  
スルーするな  
…ですよ!



ちよ  
ちよ  
バカにされている  
気がする…



司令官  
やっぱりやめよう？  
こんなのおかしい…



すまん  
もう無理

あれ…  
思ったより痛くない  
艦娘だからかな…？



ん…  
卯月より締め付けが強…



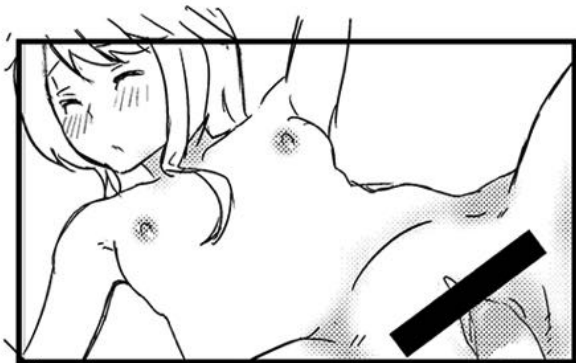
ほんと死ぬがいいぴょん



でもこれで  
仲間だぴょん







びょん



これで丸く収まったぴょん



びゅる びゅる



え…

…怒ってますよ？

当たり前にお前らめっちゃ怒ってます  
ちよっとそこ座れ



END



心配ないぴょん  
弥生ちゃんには  
表情硬いだけで  
滅多に怒らないぴょん



どーこーがーだ

勢いで乗せられたが俺たち  
弥生に殺されるぞ



★奥付★

- ◆書名：可能ならば知るべきでない鎮守府の秘密
- ◆発行者：助谷クロウ@kurov・三田ぐぬ@Gununu\_san
- ◆発行：賽響組
- ◆発行日：2015年12月31日
- ◆印刷者：日光企画
- ◆連絡先：xikyou@gmail.com

